

## 国土交通省政策会議（第17回）議事要旨

1. 日時 平成22年3月9日（火）8：00～9：00

2. 場所 衆議院第一議員会館 第4会議室

3. 出席者

【国土交通省】馬淵澄夫副大臣、辻元清美副大臣

長安豊大臣政務官、三日月大造大臣政務官、藤本祐司大臣政務官

4. 議題

○通常国会提出予定法律案について

- ・高速自動車国道法及び道路整備事業に係る国の財政上の特別措置に関する法律の一部を改正する等の法律案

○総合評価落札方式の透明化の確保等に関する改善策について

○その他（休暇分散化について）

5. 議事要旨

（1）挨拶

（2）議事要旨

○配付資料に沿って説明

○質疑

（3）出席議員からの主な意見

【総合評価落札方式の透明化の確保等に関する改善策について】

- ・ 総合評価落札方式の評価結果の通知や、窓口の設置により、地方整備局の事務量は増えるが、地方整備局の増員や焼け太りにならないようにしてほしい。
- ・ 弘済会が圧倒的に仕事をとっていたが、技術評価のどこで評価されるのか過去の分析をして資料を提出してほしい。
- ・ 岐阜県内に本店がある企業と、東京に本店がある企業が入札に参加した場合、岐阜県内に本店がある業者が加点されることになるのか。
- ・ 総合評価落札方式は、談合の温床になってきたと指摘されている。よって、総合評価は必要ないと思っている。談合が行われないよう見直しをすべき。

- ・ J Vで受注した工事の実績は、J V解消後に単体で入札した場合にも工事実績として扱われるのか。
- ・ 総合評価落札方式は、役人、政治家と業者との談合が行われやすいのではないか。また、役人が天下りしている業者が高く評価されることになるのではないか。地方公共団体ではそのおそれ大きい。
- ・ 予決令で入札参加できないとは、具体的にはどういうことか。赤字企業など経営状況が悪いと実績があっても入札に参加できないのではないのか。

#### 【休暇分散化について】

- ・ インバウンドでは2, 500万人、10兆円という数字を示しているが、休暇分散化の経済効果はどうか。
- ・ 今回の案は通年雇用につながるか。また、分散化した時期に、箱根など特定の観光地は常に賑う一方で、観光客が減少する地域も生じることにならないか。
- ・ 地方では、GWは田植えの時期に当たることに留意が必要。
- ・ 前向きでよい話であり、業界、国民、企業などの声をきめ細かく聞きながら検討を進めてもらいたい。
- ・ 沖縄では旧暦での行事もある。分散化に当たっては、地域特性にも配慮いただきたい。

～以上～